

京

たなべ
市議会
だより

令和6年第3回定例会 第187号

議会報告及び

市民と議員の

意見交換会を

開催します。

テーマは、

防災士と地域防災力

・特別支援教育

・バスの利用促進です。

日時…令和7年1月25日（土）午後2時～3時30分
場所…北部住民センター

詳細は11ページ下段にて

令和6年第3回定例会には、市長の報告5件、同意案1件、議案14件が上程されました。

また、選挙管理委員及び同補充員の選挙が本会議初日に行われ、選挙管理委員には、木口晃久氏・藤井美由紀氏・本田美和子氏・山中宏夫氏、同補充員には、岩村康博氏・岡田りえ氏・小田嘉彦氏・竹若良成氏がそれぞれ当選されました。（氏名は50音順）

本定例会で、各常任委員会に審査を付託された議案は、総務常任委員会には、「京田辺市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正」などの2件、文教福祉常任委員会には、「京田辺市こども園の設置及び管理に関する条例の一部改正」などの4件、建設経済常任委員会には、「京田辺市空家等対策の推進に関する条例の一部改正」などの4件の審査を行ったほか、補正予算のうち、各常任委員会が所管する事業について審査を行いました。

また、決算特別委員会が設置され、令和5年度一般会計歳入歳出決算認定案を始めとする9件の決算認定案について審査を行いました。各会派から選出された8名の委員による審査の上、歳入総額約462億円、歳出総額約457億円（公営企業会計を除く）の付託された9件は全て認定すべきものとして答申され、先に上程された議案を含め、全て可決・認定されました。

※採決結果は最終ページに掲載しています。

02-05

決算特別委員会



昨年のお金の使われ方は？

06-07

常任委員会



専門的に話し合われた内容は？

08-11

一般質問



議員って普段どんなことをしてるの？



京田辺市議会
公式Facebook

▶ 総務分野



- Q** 経常収支比率が3ポイントほど悪化したことの認識は。また、今後の財政見通しは。
- A** 市税収入が増加したが、歳出の人件費、扶助費等の上昇が大きかった。大型公共事業を控えており、公共マネジメント推進会議、民間活力等を活かして着実に進めていきたい。
- Q** 住民票の写し等のコンビニ交付数が増加しているが、その要因と現場の声は。
- A** マイナンバーカードの普及によるものが大きい。窓口での証明書発行数は減少している。

決算特別委員会は、専門的な内容を分野別に審査します。
総務分野では、市の財政状況や企画、職員、市民参画、消防、防災や監査などに関すること、**文教福祉分**

野では、学校や保育所・幼稚園、社会教育、福祉などに関すること、**建設経済分野**では、都市計画や産業の振興、農業、上下水道などに関することを集中的に審査しています。

決算部局別審査で
こんなことが
審査されました



▶ 文教福祉分野

高齢者を狙った
特殊詐欺
にご注意ください。

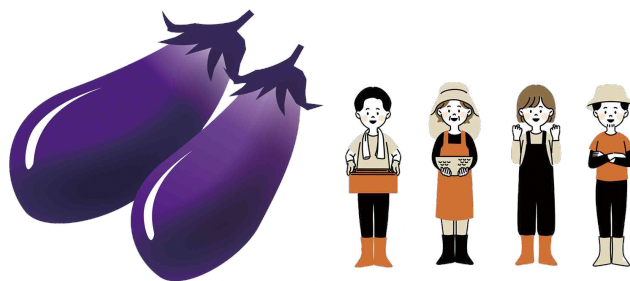
特殊詐欺とは電話やメールなどを使い、お金を騙し取る詐欺の総称です。



- Q** 特殊詐欺などに関する講習会や研修会はどうされているか。
- A** 現在は特化した研修は実施していないが、今後、定期的に警察と連携して開催を検討していく。
- Q** 介護保険の基金を取り崩せば、9期の保険料引き上げは不要になるのでは。
- A** 低所得者層を引き下げ、2040年までを見据えた平準化が必要となる。

▶ 建設経済分野

- Q** 農業特産物振興事業の実績、施策は。
- A** なす塾等開催への補助や新規なす栽培開始農業者へ補助している。
- Q** 新西浜樋門や放水路の改修工事の効果は。
- A** 防賀川は府の管理により50年計画で進められている。平成25年のような豪雨があっても溢れることは無い。



税金の使い方を確認！

決算特別委員会は、昨年度の決算が提出される9月定例会において、その審査のために設置される委員会です。本市議会では、委員8名で構成され、審査事項について次の日程で行っています。

決算では、すでに支出された契約などは取り消すことができませんが、不適切なものや、非効率なものがあれば、質疑を通じて明らかにすることができ、今後の市の予算編成に反映させることができます。



決算特別委員会の開会

決算特別委員会（国重昂平委員長、長田和也副委員長、青木綱次郎、菊川和滋、南部登志子、橋本善之、早川由紀夫、向川弘の委員で計8名）は、9月20日、10月2日、3日、7日、21日の5日間にかけて委員会を開催し、定例会で付託された令和5年度一般会計をはじめ、8件の特別会計等の計9件の決算認定案について審査を行いました。

審査はまず令和5年度に実施された主な事業について、市内の現地調査から始まりました。その後、日をわけて部局別（総務、文教福祉、建設経済）に審査を行いました。最終日には、5つの会派による総括審査を行った後、決算認定案を全て認定しました。

審査を踏まえた会派別意見は4、5ページに掲載しています。

9月20日 現地調査
▼
10月2日 総務 審査
▼
10月3日 文教福祉 審査
▼
10月7日 建設経済 審査
▼
10月21日 総括 審査

インクルーシブ 遊具が設置 されました！

山手南にあるふわふわ公園内に、障がいの有無にかかわらず誰もが楽しめるインクルーシブ遊具が設置されました！

みなさん、ぜひ遊びに来てください😊



総括審査 会派からの意見

NEXT 京田辺

さらなる行政運営の適正化を

Check!

令和5年度決算は、一般会計・特別会計・公営企業会計ともに適切に執行され、限りある財源の中、着実に事業を推進されたことを高く評価する。また、以前より指摘していた高い不用額に関して、事業の早期着手・早期執行に努められた成果により半減したことも高く評価する。

今後、計画されている大型事業においては、部局間の連携を強め取り組まれるとともに、民間活力の効果的な活用にも努められたい。そして、今後もさらなる市民サービス向上にむけ、提供する側である職員の体制、職場環境、働き方改革にも積極的に取り組まれたい。



本市では、決算認定案に係る委員会審査について、決算特別委員会の最終日に全体的、総括的な審査及び採決を行っています。

令和5年度に実施した市の全ての事業について、5つの会派から多岐にわたる質疑が行われました。

各会派から提出された意見を掲載しています。

日本共産党京田辺市議会議員団

負担増中止し市民の暮らし守れ

Check!

昨年来の物価高騰で、食料品等の生活に欠かせぬものの値上がり続く。一方で、給料や年金は減少し、消費税増税や社会保障改悪による負担増であり、住民の生活の苦しさ、暮らしの不安は増大している。住民にもっとも身近な地方自治体である京田辺市が、住民の悩みや生活の不安に寄り添い、暮らしを守る役割を果たすことが何よりも求められている。

しかし2019年度以降、国保税引上げや人間ドック補助の縮小、下水道料金値上げ、修学旅行費補助廃止など市民の負担増が続き、今後、家庭ごみ有料化の検討まで打ち出されている。このような負担増は直ちに中止すべきだ。

自民一新会

各種事業推進と自主財源確保

Check!

新型コロナウイルス感染症が5類に移行となり本格始動となった令和5年度は、多くの懸案事業が進行する中、一般会計をはじめとした予算執行について、財源と事業推進のバランスを図り適切に処理されたといえる。

今後においても、田辺北新市街地整備をはじめ防災広場整備事業や可燃ごみ広域処理施設整備など大型プロジェクト施策を着実に進める一方で、本市の主要な財政分析からは地方交付税への依存度の高まりと共に一層の財政硬直化が予想される。

そのようなことも念頭に「みんなが住み続けたいと思えるまち」実現に向け、社会や市民ニーズを的確に捉えた市政を推進されたい。

公明党

財源を確保し安全と生活を守れ

Check!

財政厳しい中、公明党が要望した学校給食センター整備、スマホ講習会の拡充、子ども医療費助成の高校まで拡充、キャッシュレス決済ポイント還元等の実施を評価する。

今後の大型事業には国・府交付金活用に加え自主財源が重要。ふるさと納税、企業版ふるさと納税を広くPRし税収増加に努めること。

自主防災組織を全区自治会に設置すべき。防災士の配置に取り組むと共に地域に合ったノウハウと事例紹介等の支援をすべき。

市内経済と物価高対策のため売り上げアップの取り組みと並行し、キャッシュレスポイント還元も行うべき。带状疱疹ワクチン定期接種化を要望する。

日本維新の会・無所属南部の会

市民の安心安全確保の取組みを

Check!

高齢者の就労増加・民間業者の人材不足等により、市民活動や民間活力に頼ることが難しくなる。財政が厳しくなる中、大型事業や新規施策は健全財政のもとに推進することが重要。

有機フッ素化合物にかかる水道水や農作物の安全管理の徹底、鳥獣被害や高騰する燃料代等に苦しむ農家への支援を確保することが求められる。

防災広場の整備、備蓄品の充実、救援活動や避難所運営の連携及び中長期における応急住宅・仮設住宅設置の精査が必要。同時に、重度身体障がい者が安心して避難できる体制の確保を。

学校給食の栄養の確保、食材費の保護者負担の軽減措置を可能な限り継続すべき。

文教福祉常任委員会

付託議案

議案 第 39 号・第 40 号
第 45 号・第 46 号

主な質疑内容

●議案第 39 号 京田辺市立こども園の設置及び管理に関する条例の一部改正について

令和 7 年 4 月 1 日付けで「京田辺市立河原こども園」を設置するとともに、「京田辺市立田辺東幼稚園」及び「京田辺市立河原保育所」を廃止するため、提案するもの

問 制服の変更など幼稚園からこども園に変わるものの影響と、保育士の拡充・配置体制等は。

答 制服は現在のものを引き続き使用できるなど影響のないよう配慮。保育士は一人でも多く確保を目指す。

●議案第 40 号 京田辺市子育て支援医療費の助成に関する条例の一部改正について

健康保険証が廃止されることに伴い、所要の改正を行うため、提案するもの

問 条例改正の時期、健康保険証が廃止されることによる影響等については。

答 マイナンバーカードを保険証として利用される方への対応が必要であり、また、マイナンバーカードの保険証機能を利用しない方へは資格確認書が交付されることから対応が可能である。

●議案第 45 号 京田辺市学校給食費の徴収に関する条例の一部改正について

令和 7 年 4 月から小学校給食費の公会計による徴収事務を開始するに当たり、保護者等から学校給食費を徴収するため、本条例について所要の改正を行うもの

問 公会計を導入することのメリット・デメリット、職員の事務負担は。

答 中学校で実施していることからシステム導入によるスケールメリットを活かし、全体的な事務負担としては、軽減されるものと見込んでいる。

委員会での審査結果

議案第 40 号は賛成多数で、その他の 3 議案は賛成全員で可決すべきものと決定

●所管事務調査

宮城県の名取支援学校名取が丘校と秋保かがやき支援学校、山形県の天童中部小学校の 3 校を視察しました。天童中部小学校のフリースタイルプロジェクトは不登校ゼロの効果もあったことから、市に良い提言が出来るよう引き続き活動を進めていきます。



建設経済常任委員会

付託議案

議案 第 42 号・第 43 号
第 44 号・第 47 号

主な質疑内容

●議案第 42 号 京田辺市空家等対策の推進に関する条例の一部改正について

空家等対策の推進に関する特別措置法が改正されたことに伴い、同法を引用する本条例について、所要の改正を行うため、提案するもの

問 空家は所有者が不明になりやすいが、情報把握の円滑化の内容は。また、固定資産税への影響は。

答 電気やガスの契約者情報の照会が可能になった。また、固定資産税への影響については、管理不全空家としての指定がされた場合、住宅用としての減額措置が適用されなくなる。

●議案第 43 号 京田辺市都市公園条例の一部改正について

田辺公園パデルコートの整備を行うに当たり、有料公園施設にパデルコートの使用料等に係る規定を追加することに伴い、所要の改正を行うため、提案するもの

問 何故、パデルコートを整備することにしたのか。

答 利用率の低い壁打ちテニス用のスペースの有効活用を図るため、小さなスペースで整備が可能で、他に同様の施設が市内に存在しない競技としてパデルを選択した。



パデルコート イメージ

委員会での審査結果

付託された議案は全て賛成全員で可決すべきものと決定

●所管事務調査

7 月 9 日～ 10 日、静岡県浜松市と岐阜県岐阜市において視察研修を行いました。浜松市は「バス交通施策」について、岐阜市では「自動運転バス」についての視察を行いました。



自動運転バスに試乗した様子



常任委員会の審議内容

常任委員会は定例会において付託された議案等を審議・審査します。

本市議会には、総務常任委員会・文教福祉常任委員会・建設経済常任委員会があります。

その主要内容について、お知らせします。
※各委員長から提出された要約原稿を掲載しています。

LIVE 会議の様子を中継しています

京田辺市議会では会議の様子をインターネットで中継しています！
録画配信も行っています。

京田辺市 議会中継



スマートフォンでも視聴できますよ！



総務常任委員会

付託議案

議案 第 38 号・第 41 号

主な質疑内容

●議案第 41 号 京田辺市国民健康保険条例の一部改正について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律が公布され、令和 6 年 12 月 2 日から被保険者証が廃止されることに伴い、本条例について所要の改正を行うもの

問 国民健康保険の被保険者証において、保険証の返還を求める趣旨と科料が生じるケースについて実態はどうか。

答 資格喪失時と保険料滞納の場合において返還を求めることになるが、今日まで返還されずに科料を科した実績はない。

委員会での審査結果

議案第 38 号は賛成多数で、議案第 41 号は賛成全員で可決すべきものと決定

●所管事務調査

「防災士取得者等の積極的な活用と取り組みの展開について」は四日市市への視察や執行部へのヒアリングを踏まえ、1 年 6 ケ月にわたり調査研究した報告書を提出しました。

「天理山古墳の保存と活用について」は、去る 8 月 6 日に、奈良県田原本町唐古・鍵遺跡を視察訪問し、古墳公園と道の駅を活用した観光行政を学ぶとともに、9 月 17 日に天理山古墳調査の現状と今後のスケジュール等について、執行部へのヒアリングを実施しました。



四日市市議会 視察研修の様子





市議会議員の一般質問をしてみよう

市議会議員が市に対して、将来の方針、政策の内容や執行の状況などを直接質問するものです。

行政に関することのほか、地域の生活に密接していることなど多岐にわたる質問がされていますよ。みなさんの身近なことからについての質問がされているかもしれません。

※議員から提出された要約原稿を掲載していますので、詳細については各議員にお問い合わせください。緑線の用語の解説は11ページに記載しています。

久保典彦議員 自民・新会 子育て環境について



市立幼稚園のお弁当給食の導入計画が進んでいる。安全性を確保しながらも、質の良いお弁当を提供する必要がある。現状と今後について問う。

安全性については、プロポーザルで業者を決定する予定で金額だけでなく、どのように管理されているお弁当なのかなど、総合的に判断し安全の担保も考えたい。

中学校の部活動の地域移行について、公立中学校の休日の部活動を段階的に地域へ移行できるように進めていくとされている。様々な課題を早急に整理し導入に向けて進めていく必要がある現在の進捗状況と今後について問う。

安全性については、プロポーザルで業者を決定する予定で金額だけでなく、どのように管理されているお弁当なのかなど、総合的に判断し安全の担保も考えたい。

橋本善之議員 自民・新会 社会資本整備で本市の効果は



① 新名神高速道路全線供用。
② 田辺北新市街地で計画中の複合型公共施設。

③ 田辺公園で整備の農福連携型の京田辺クロスパーク。
市長 ① 新名神高速道路の期待の高まりから物流拠点の注目を集め企業立地が進んでいる。広域的な国土軸の中で、本市においても企業立地等のストック効果発出が期待。

ホールや中央公民館、中央図書館といった文化機能と、親和性の高い子育て支援機能や市民交流促進機能を併設し市民が参加しやすい環境整備。③ 本事業は、農体験などを通じ、食育を始め環境学習機会の拡大・高齢者の健康長寿と生きがいづくりや障がいのある人の生活・活動を地域全体で支える体制の構築。

自助、共助の観点で市としての重要な取り組みは何か。消防、警察等の関係機関と連携し被害状況等の確認把握を行い、被害の最小化を基本に様々な対策を組み合わせる。災害発生時には公助の手が入るまでの間、自助・共助が最も重要。市として自主防災組織の設置や地域防災リーダー育成など市民の防災意識を高める取り組みを行う。

次田典子議員 無党派 大深度工法の北陸新幹線止めよ



松井山手駅地下40mに北陸新幹線新駅建設計画が公表された。2020年10月の調布市外環道路建設現場で陥没事故を起こしたのと同じ工法だ。これは憲法29条の財産権の保障に違反する。また事業費が当初の2倍の最大5.3兆円に膨らむ可能性がある。費用対効果も「1」未満となる。自公が進める税の無駄遣い。ポーリング調査の結果も市民に知らせずなし崩し的。静かな環境を求めて建てた自宅地下に陥没事故を起こした大深度工法で、トンネルを掘られる市民の立場に立ち市長は公約を守れ。

を突然改修し、お風呂もなくそうとしている。北部の高齢化率は今後さらに高くなる。高齢者が入りにくくごちゃごちゃした南部まちづくりセンターの様な施設になる。児童館は周辺に子どもの多い松井ヶ丘幼稚園跡地に移すべきだ。民間の力も借りていく。



新幹線松井山手駅位置図

岡本亮一議員 日本共産党 南部住民センターの建設を



京田辺市南部地域のコミュニティ拠点となる（仮称）南部住民センター（図書館、体育館の機能など含む）の建設を検討すべき。

現在の民間施設（旧南都銀行）の賃借期間である10年程度を目処に、施設の利用状況や市民のニーズを踏まえ、必要な機能を検討し、その後の方針を決定する。

南部まちづくりセンターの施設利用について、シルバーク会が交流イベントスペース（定員20名）を使用し、体操などされているが手狭であるため改善を。

給食費の無償化は考えていない。

施設を直接担当する職員と検討する。

秋には、右折レーン部分のガードレールについて、約20mの範囲をガードパイプへ追加変更する予定としている。

子育て世帯への経済的支援を目的として、国民健康保険に加入している18歳まで

同志社山中中央バス停前の交差点の安全対策を。

片岡勉議員 NEX-T京田辺 所有者不明土地等の増加抑制を



固定資産税と相続登記の義務化の認識は。

相続登記の義務化は国の施策だが、過年度、国作成のチラシによる取り組みなどを行ってきた。今後は新たに納税通知の説明文に義務化の加筆を行い周知やおくやみハンドブック配付に併せ、説明文書でも周知する。市ホームページでの周知は検討。

相続登記の義務化に伴う固定資産税の事務の現状と今後の取り組みは。

市営霊園の利用状況は。近年、区画の返還が出ており、本年度から5年間、

早川由紀夫議員 日本維新・南部 地震情報への対応や防災訓練は



地震情報への即応体制による備えや市民への防災対応の呼び掛け、今後の防災訓練計画、ボランティアセンターの人材育成などを問う。

育て支援拠点としての機能強化を図る。また、育児などの相談や情報発信、野外活動などソフト面の充実、土日や夜間開館などの検討を進める。

気象庁・府などの関係機関と連携し、地震の発生予測、被害状況などの情報収集を行い、有事の対応について、ホームページやSNSにより、市民への注意喚起を行っている。

緑の基本計画の推進において、街区公園の管理や利活用が図られるよう、今後のあり方への市の見解を問う。

防災会、防災士、ボランティアセンター・府などの連携に主眼を置いた訓練を計画していきたい。

終活支援の取組みは。

大住ふれあいセンターの再編整備計画において、子育て支援機能を充実すべき。

地域包括支援センターにおける成年後見制度の案内のほか、社会福祉協議会と連携したエンディングノートによる終活支援を行っている。

子育て支援センター松井山手の移転により、児童館機能を併せ持つ北部地域の子

育て支援拠点としての機能強化を図る。また、育児などの相談や情報発信、野外活動などソフト面の充実、土日や夜間開館などの検討を進める。

向川弘議員 公明党 市役所に軟骨伝導イヤホン設置



耳の聞こえにくい高齢者や難聴者が市役所窓口において円滑な会話ができるよう軟骨伝導イヤホンを早期に設置すべき。市の見解を問う。

令和6年度から補聴器購入費の助成を実施しているが窓口では補聴器を持たない方もある。出張した際に私が実際に軟骨伝導イヤホンを確認し非常によく聞こえた。購入の検討を進める。

「小1の壁」についての認識を問うと共に、長期休業中の留守家庭児童会における午前7時からの預かりを早期実現すべき。市の見解は。

令和7年度開始の見通しとなった帯状疱疹ワクチン定期接種の説明を求めると共に、現段階から前倒しで費用助成をすべき。市の見解は。

できるだけ早いうちに高齢者支援課の窓口1台設置する。あと1台は庁内での貸出しを考えている。

定期接種のワクチンとする方向で進められている。さらに審議をされる予定。現段階での費用助成は考えていないが、対象年齢、用いるワクチンなど、国において詳細が決まり次第、市民に広く周知するなど定期接種に向けて準備を進める。

保育所における朝の延滞

定期接種のワクチンとする方向で進められている。さらに審議をされる予定。現段階での費用助成は考えていないが、対象年齢、用いるワクチンなど、国において詳細が決まり次第、市民に広く周知するなど定期接種に向けて準備を進める。

河田美穂議員 公明党 ペット同行避難訓練実施を



ペット同伴・同行避難訓練を実施すべき。

各地域や自主防災会で行う避難訓練などの一環として、同行避難実証訓練が行えるようにしていきたい。

防災士と一緒につくるマイ・タイムライン講習などの実施について。

具体的な実体験ができる研修会を実施し、防災士の方々が地域防災リーダーとして、人数

の拡充に向けた議論をする。

【問】 平和のつどいの充実と参加拡大を。

【市長】 どのような内容を充実させていくか、多くの方々に参加いただける取り組みなどを協議会でも検討したい。

【問】 原爆被害等を疑似体験できる「VRゴーグル」の貸出し申請について。

国重 昂平 議員 自民・新会

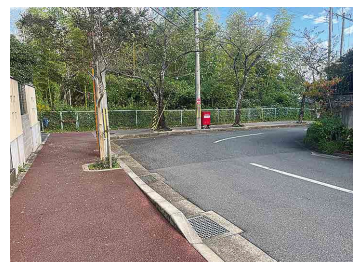
子育て支援と保護者支援

【問】 コロナ禍以降、保護者同士の繋がり希薄が懸念されている。本市の保護者支援の取り組みは。

【市長】 保健師が妊娠届出の際妊婦全員と面談し、そこから全戸訪問をしている。また令和6年度からは、妊婦と生後1年未満の乳児を対象に集団参加型の「はぐはぐカフェ」を実施し、助産師への相談や、参加者同士の交流ができる場を提供している。

【問】 府営水の建設負担水量の調整が現在府営水道の経営審議会で協議されているが、本市のスタンスは。

【公営企業管理者職務代理者】



安全対策が必要な山手東の道路

吉高 裕佳子 議員 無会派

京田辺市自治基本条例の制定を

【問】 「自分たちのまちは自分たちでつくる」を実現するため、京田辺市自治基本条例の制定が必要ではないか。

【問】 制定にこだわることなく、区・自治会と市民活動団体などへの支援を進める。

【問】 複合型公共施設整備基本構想について。①中央図書館と中央公民館の、移転後の事業手法は。②郷土資料展示とは何か。③子ども支援機能（子育て支援拠点・多目的ルーム・一時預かり等）、市民交流促進機能（男女共同参画・市民活動・大学連携・高齢者健康増進等）、行政相談機能（子育て相談・女性相談等）とは。

【問】 ①民間の知恵を借りる事業手法も検討。②図書館が所蔵する地域資料とともに本

南部 登志子 議員 日本維新・南部

駅東整備不動産会社と交渉を



【問】 新田辺駅東側のスーパ一跡地を購入した不動産会社がマンション建設を計画。周辺の土地も購入され始めている。スーパ一はできないことが判明。①市はこのことを知っているのか。②旧307号線の拡幅も含め、市が目指す東側一帯の整備と活性化に向けて、この不動産会社と交渉すべき。

【問】 ①知らない。②当該事

上田 毅 議員 日本維新・南部

教育費の無償化について

【問】 教育費の無償化について。第二子からでも教育の無償化を進めていく事を検討しては。熊本天草市、また石川加賀市は震災があった令和6年に0歳から第一子以降の保育料を無償化や、1歳までのおむつ定期便無料。山梨甲斐市は3歳以上の住民課税条件を撤廃し、新たに0歳児約540人が無償。市の減収や民間保育園への支出など影響額が約414万円。本市でもできない額ではない。子どもを産んで育て、子どももまた、その街で結婚しと、その循環を築いて頂きたい検討を。

【問】 色々な子育て施策は認識している。大学の授業料から保育料まで減免・無償化が進んでいることも承知。1度できなくても第二子からと

増富 理津子 議員 日本共産党

PFA S調査で原因追跡を



【問】 各浄水場で実施しているPFA S検査の分析は。

【問】 2020年度より水系（4系統）の各1か所の給水栓で年1回の検査を実施。国が定める暫定目標値50ナノグラムを下回る含有量で推移していることを確認している。

【問】 河川3か所でPFA Sが基準値を大きく超えた問題について詳細と対策を。

【問】 原因箇所の絞り込みを

ポートできる個々に合ったアプリの導入と活用を求める。

【教育長】 特別支援教育について、今後システムを構築していく予定。発達障がいについての理解は一定進み、対応もできているが、学習障がいは見えにくいため、まずは現場での理解が必要になる。その中で、どういう支援ができるのかを検討していきたい。

【問】 さんさん山城の虐待認定問題。退職した職員たちが、枚方で新たな事業所を立ち上げた。就労支援所としての利用者の多くがこの新しい事業所に移られている。このことが何を示すのか。虐待認定の取り消し、もしくは再調査を。

【問】 考えていない。

有田 幸平 議員 日本維新・南部

孤独・孤立社会対策について



【問】 孤独・孤立対策推進法の施行において本市の取組み、方向性について問う。

【問】 近年、社会的孤立という課題が顕在化しており、社会参加に向けた支援や居場所の提供等を実施している。また、ひきこもり支援連絡会をプラットフォームに位置づけ、臨床心理士による専門相談を開始する等、長期的に丁寧な対応と支援を行っていく。

【問】 単身高齢者等に対する見守りの取組みや、住民の異変に対する察知、対策について問う。

【問】 郵便局や新聞配達事業所など8社と協定を締結し、異変があれば市へ通報いただく体制を構築しているところ。また、高齢者のお宅を訪問し、様子をお伺いする実態把握事

導入については保育士確保の見通しも厳しい状況。

【問】 市の保育現場の状況を国に伝え、制度見直しを。

【市長】 どのような制度がいいのかしっかり国に要望していく。真に子どもの育ちのために良い提言もしていく。

【問】 生活保護申請の際、扶養義務者調査票の記載を求めない事ではない。

青木 綱次郎 議員 日本共産党

北陸新幹線延伸、市長の見解は



【問】 国土交通省、鉄道運輸機構は、北陸新幹線延伸について、京都駅の場所3案と松井山手付近に設置する新幹線新駅を地下駅とし、その事業費として3.4兆円から最大5.3兆円、工期も20年から28年とする案を公表した。①同案についての市長の見解を問う。②同案について国等から京田辺市に具体的な説明があったのか。

【市長】 ①北陸新幹線新駅が設置されることは、京田辺市はもとより、京都府南部地域や学研都市の発展などにもつながる。松井山手駅周辺では、地下駅と決定され安堵している。国などには、周辺環境への配慮と、沿線自治体に過度な負担が生じないよう十分な財政措置を求めている。

【市長】 ①減免制度が文化施設利用に貢献してきたことは理解しているが、昨今は活動に対価を払っているという文化も発生しているのは事実。利用申込みをすれば即、無料というのは改めるべき。

【問】 ②103件の意見があり、現行の減免制度の継続を望む意見がある一方で、見直しに肯定的な意見もあった。受益者負担の適正化が必要。

【市長】 ①減免制度が文化施設利用に貢献してきたことは理解しているが、昨今は活動に対価を払っているという文化も発生しているのは事実。利用申込みをすれば即、無料というのは改めるべき。

一般質問・用語の解説

プロボーザル（8ページ）

不特定多数の企業の中から定められたテーマの企画書・提案書などの提出を求め、最も適した提案をした企業を契約の相手とする方式

建設負担水量（10ページ）

市町の要望に基づき実施された水源開発や施設整備の投資にかかる負担を、市町で公

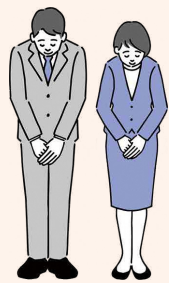
議会報告会のご案内

日時：令和7年1月25日（土）
午後2時から午後3時30分まで
場所：北部住民センター

本市議会の議会報告と市民のみなさんとの意見交換会を開催します。
意見交換会は、

○防災士と地域防災力について
○特別支援教育について
○バスの利用促進について
の3つのテーマごとのテーブルに分かれ意見交換を行う予定をしています。

申し込み不要ですので、お気軽にご参加ください。



審議の結果を報告します



議案番号等		件名	採決状況	議決結果
同意	6	京田辺市教育委員会委員の任命	賛成多数	同意
議案	38	京田辺市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	賛成多数	可決
	39	京田辺市立こども園の設置及び管理に関する条例の一部改正	全員賛成	可決
	40	京田辺市子育て支援医療費の助成に関する条例の一部改正	賛成多数	可決
	41	京田辺市空家等対策の推進に関する条例の一部改正	全員賛成	可決
	42	京田辺市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正	全員賛成	可決
	43	京田辺市都市公園条例の一部改正	全員賛成	可決
	44	京田辺市都市公園条例の一部を改正する条例の一部改正	全員賛成	可決
	45	京田辺市学校給食費の徴収に関する条例の一部改正	全員賛成	可決
	46	京田辺市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正	全員賛成	可決
	47	田辺公園拡張整備事業の指定管理者の指定期間の変更	賛成多数	可決
	48	令和6年度京田辺市一般会計補正予算（第2号）	賛成多数	可決
	49	財産取得の追認	賛成多数	可決
	50	財産取得の追認	賛成多数	可決
	51	令和6年度京田辺市一般会計補正予算（第3号）	全員賛成	可決
決算認定	1	京田辺市一般会計歳入歳出決算認定	賛成多数	認定
	2	京田辺市休日応急診療所特別会計歳入歳出決算認定	全員賛成	認定
	3	京田辺市松井財産区特別会計歳入歳出決算認定	全員賛成	認定
	4	京田辺市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	賛成多数	認定
	5	京田辺市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	賛成多数	認定
	6	京田辺市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	賛成多数	認定
	7	京田辺市水道事業会計決算認定	賛成多数	認定
	8	京田辺市公共下水道事業会計決算認定	賛成多数	認定
	9	京田辺市農業集落排水事業会計決算認定	全員賛成	認定
意見書案	4	建設アスベスト被害者の救済とアスベスト対策の拡充を求める意見書	全員賛成	可決

賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、個々の賛否について掲載。（賛成：○、反対：×、欠席：一、退席：□、除斥：△）
採決に参加しなかった場合“▼”で表しています。
※河本隆志議員は議長職のため、表決権はありません。

議案番号等	議決結果	自民一新会					NEXT京田辺				日本維新の会・無所属南部の会				日本共産党京田辺市議会議員団			公明党		無会派	
		榎本 昂輔	国重 昂平	久保 典彦	田原 延行	橋本 善之	片岡 勉	河本 隆志	菊川 和滋	長田 和也	有田 幸平	上田 毅	南部 登志子	早川 由紀夫	青木 綱次郎	岡本 亮一	増富 理津子	河田 美穂	向川 弘	次田 典子	吉高 裕佳子
同 6	同意	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議 38	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×	×
議 40	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×	×
議 47	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○
議 48	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議 49	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議 50	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
認 1	認定	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×	○
認 4	認定	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
認 5	認定	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
認 6	認定	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
認 7	認定	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
認 8	認定	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○

来期の予定： ■ 定例会開会：11月28日 ■ 一般質問：12月4、5、6日 ■ 定例会閉会：12月23日
■ 常任委員会（総務：12月11日、文教福祉：12月12日、建設経済：12月13日）
■ 議会運営委員会：11月19、26日、12月17、19日 日程は変更になる場合があります。